

Online

2024年12月10日(火) 13:30~16:30

森林環境譲与税を活用して拡げる 「森林環境教育・森林ESD」実践セミナー2024

全小学校の林間学校で「森林ESDプログラム」を
導入した東京都小金井市教育委員会の事例に学ぶ



- “森林”は、児童生徒の発達段階に応じて、体験学習・調べ学習・問題解決学習などの多様な「アクティブ・ラーニング」を行いやすく、また社会科・理科・算数・道徳などの多様な「教科横断的な学習」も行いやすいことから、学校教育での「探求学習」としての題材として大きな可能性が有しています。
- こうした中で、(公社)国土緑化推進機構では、(一社)東京学芸大 Explayground 推進機構等と連携して、①「ワンストップ」のコーディネート体制の構築、②教科横断学習・探求学習志向の「森林ESDプログラム」の開発、③「森林ESDインストラクター」の養成等を取り組んできました。
- そうした条件整備を行うことで、東京都 小金井市教育委員会では、「森林環境譲与税」を活用して、全小学校6年生の「林間学校」で、「間伐体験」「森の探求学習」「事前事後学習」を一体的に実施する「森林ESDプログラム」を導入するに至りました。
- そこで、東京都小金井市の実践事例をもとに、全国で森林環境譲与税を活用して、林間学校等における「森林ESD」の導入が拡がることを期待して、実践セミナーを開催します。

【主催】(公社)国土緑化推進機構

【共催】(一社)東京学芸大 Explayground 推進機構、小金井市教育委員会

【日時】2024年12月10日(火) 13:30~16:30

【場所】オンライン会議システム「ZOOM」

【定員】100名(定員になり次第、締め切りますので、お早めにお申し込みください)

【参加費】無料

【申込】WEBサイトの「申込フォーム」からお申し込みください。

《フォーム》<https://forms.gle/BRsguar3mtu853oCA>

【締切】2024年12月3日(火) ※定員になり次第、締め切りますので、お早めにお申し込み下さい。

【問合先】(公社)国土緑化推進機構 政策企画部 TEL: 03-3262-3883 E-mail: comis@green.or.jp

(一社)東京学芸大 Explayground 推進機構

E-mail: explayground.forest@gmail.com



東京都小金井市 林間学校における 「森林ESDプログラム」

- ✓ ①事前学習で教科等横断的に小学校5年生までの学びを振り返り、林間学校で調べたいテーマを抽出
- ✓ ②林間学校では間伐体験を行いつつ関心があるテーマで探求学習。
- ✓ ③事後学習でテーマ別に学びをまとめ、全体で各学びを共有・総括。

【小学校5年生】
多様な教科等における
学習活動

〈社会〉
わたしたちの生活と森林
地球環境とともに生きる(SDGs)
歴史的木造建造物

〈理科〉
植物の発芽と成長
植物のからだのはたらき

〈算数〉
縮図(樹高測定)・面積(森林・葉)

〈図画工作〉
造形遊び・木材の切削加工

〈道徳〉
生命や自然の尊重
伝統文化の尊重

【森林ESDプログラム】

《学校》
①事前学習

《移動教室》
②森林体験
・探求学習

《学校》
③事後学習

〇5年生教科学習の振り返り
〇森林管理の必要性の気づき

〇間伐体験
〇探究学習(各種調査)
〇間伐材利用

動物調査 生物調査
森林調査 間伐体験 間伐材活用
植生調査 土壌調査

〇これからの教科学習に向けて
〇児童同士の学びの共有

【小学校6年生】
多様な教科等における
学習活動

〈社会〉
地球規模課題解決に向けた連携・協力

〈理科〉
燃焼の仕組み
植物の養分と水の通り道
生物と環境

〈図画工作〉
造形的活動の実施

〈家庭〉
環境に配慮した生活の工夫

〈道徳〉
生命や自然の尊重

森林環境譲与税を活用して広げる「森林環境教育・森林ESD」実践セミナー2024 プログラム

1. 開会挨拶	織田 央 ((公社)国土緑化推進機構 専務理事)
2. 概要報告	【1】学校教育に対応した「森林ESD」の考え方 今泉 裕治 ((公社)国土緑化推進機構 常務理事) ▶ (公社)国土緑化推進機構では、 学習指導要領や教科書等の内容に対応しつつ 、森林を多面的に活かして、 教科横断学習や探究学習 を志向する「森林ESD」を提唱しながら、教育委員会等の教育分野との連携を進めてきていますので、その基本的な考え方をご紹介します。
	【2】移動教室等における「森林ESDプログラム」導入に向けた5つの仕組みづくり 宮村 連理 ((一社)東京学芸大 Explayground 推進機構、東京学芸大学附属小金井中学校) ▶ 東京都小金井市では、全小学校の林間学校でプログラム提供ができるように、 ①青少年教育施設の近隣の活動フィールドの確保、②指導者組織と連携した実施体制の構築とコーディネーター配置、③教科横断学習・探究学習志向の「森林ESDプログラム」の開発、④教育的な視点を併せ持った「森林ESDインストラクター」の養成、⑤段階的な実績づくりを経た「森林環境譲与税」による財政措置 を図り、持続的な活動を展開しており、その概要をご紹介します。
	【3】教科横断学習・探究学習志向の「森林ESDインストラクター」養成の仕組みづくり 鳥屋尾 健 ((公財)キープ協会 環境教育事業部長) ▶ 小金井市における「森林ESDプログラム」は、他の市区町村等にも横展開できるように、文部科学省所管の(独)国立青少年教育振興機構等が推進する「自然体験活動指導者養成制度 (NEAL)」の枠組みに合わせて、延べ90時間以上の講義・実習・OJTを行っており、その概要を紹介します。
	【4】森林環境譲与税を活用した全小学校への「森林ESDプログラム」の導入 高久 かおり (東京都 小金井市教育委員会 指導主事) ▶ 小金井市の「森林ESDプログラム」は、初年度は1校、2年目は3校を実施し、当該校での取組を校長会で報告しつつ、希望する学校には「森林環境譲与税」で財政支援する中で、ボトムアップで全校での導入に至りました。その経緯や具体的な内容について、をご紹介します。
2. 実践報告	【1】「森林ESDプログラム」事前学習の概要 阿部 真弥 (東京学芸大学大学院、森林ESDインストラクター) ▶ ボードゲームを用いることで、「間伐体験」の意義を学び、主体的な参加意欲を醸成したり、児童が主体的に「探求学習」のテーマを検討できるように行っている事前学習の様子を紹介します。
	【2】「森林ESDプログラム」間伐体験・探求学習の概要 村山 敬洋 (自然体感工房つむぐ、森林ESDインストラクター) ▶ 林間学校の2日目の午前・午後に行っている林業事業体の指導による探求学習志向の「間伐体験」や、児童が自ら決めたテーマで行う多様なテーマの「探求学習」の様子を紹介します。
	【3】「森林ESDプログラム」事後学習の概要と学習の成果 浅野 正道 (東京都 小金井市立第一小学校 校長) ▶ 林間学校での「間伐体験」と「探求学習」の学びを組み合わせで行っている事後学習の様子をご紹介します。紹介頂きながら、「森林ESDプログラム」の効果と今後の可能性の所感を紹介します。
3. ディスカッション	「森林環境譲与税を活用した、移動教室における「森林ESD」の価値と可能性」 ～地域と学校の協働による「教育の質の向上」から、「森林サービス産業」の創出まで～ 《進行》宮村 連理 ((一社)東京学芸大 Explayground 推進機構) 《登壇》上記登壇者 《講評》大熊 雅士 (小金井市教育委員会 教育長)
4. 閉会	
5. 個別相談	(希望する自治体・教育委員会、青少年教育施設等を対象に、個別相談を行います)